

# 支部だより

## 瀬戸内の風景に包まれ

### 楽しい日帰りバスツアー

美木多支部



2月1日(日)、南淡路温泉日帰りバスツアーを実施しました。子どもたちを含め総勢34



おいしい料理をいただきました

(小林 孝三)

人。マイクロバス2台の旅となりました。

おいしい料理と、眼前に見事に鳴門大橋を望む露天風呂。瀬戸内の風景に包まれ、くつろぎのひとときを過ごすことができました。

子どもたちは、露天風呂、大浴場に大喜び。大人たちも、まっすぐ伸びた淡路島ドライブウェイと島の景色に心も解き放たれ、楽しい旅となりました。

淡路名物たこせんや玉ねぎ。お土産もしっかり買い込んで家路へ。

車内では、協同基金や大腸がん検診の受診の訴えも行った。日帰りバスツアーも無事終了。運転手さん、本当に苦労さまでした。ありがとうございました。

う一面も見せていただき本当に楽しいひと時でした。

講師不足のため新規の加入は今のところ受け付けていません。また受講者の方にも準備不足で、ご迷惑をかけています。

私にとっては綱渡りの運営ですが、隣同士で教えあいをしたり、自前のレジメで補ってくれたり、皆さんに助けってもらっています。「ここへ来るだけで楽しいから、無理せんでもいいよ」と慰めの言葉もいただき、今年も頑張らなくてはと思っています。

(江戸 道子)

## パソコンサークル

### にぎやかに2回目の新年会

鳳ブロック



パソコン教室

2009年6月から鳳クリニック4階で行っているパソコンサークルは今年で6年目をむかえました。2回目の新年会を1月13日(火)に行いました。ほとんどの方が参加され、食べて歌って、話も弾んでアツという間の4時間でした。昨年の1回目は事務局提案で行った新年会でしたが、今回は会員のみなさん

のお声がかかりで、準備も運営も手分けして行っていました。パソコンに向かってる時の顔と全然違

## 癌から命を守るのはやはり健診だね

原山台 医療班会



班会の様子

2月2日、病理医の木野先生を囲んで、原山台で医療班会を行いました。

木野先生は日頃、人の体の一部から取り出した臓器に、癌が無いかを調べておられる癌のスペシャリストです。健康な臓器と癌に侵された臓器の違いを写真で見比べると、やはり年に1回の健診がどんなに大切か痛感しました。特に大腸がん健診は簡単で、「捨てる

ウチで拾う命」と合言葉にもなっています。

その他の癌も年に1回検査してあげば、よほど悪い癌に侵されない限り手遅れにはなりません。

癌の治療は大きく分けて「手術・抗がん剤治療・放射線治療」の三種類があります。癌が出来た部位や進行によって医師と相談して治療法を決めますが、悩んだり不安な場合はセカンドオピニオンという、別の病院や別の医師の診断を受けることもできます。

2人に1人は癌で亡くなる時代ですが、早期発見が生死の分かれ目になります。みなさんに1回は必ず健診を受けましょう。

(事務局 大坪)

## 新春講演会 異常な日本の格差社会

主催 堺社保協

講師 後藤道夫氏 (都留文科大学名誉教授)



約70人の参加者

恒例の新春講演会が1月31日(土)に開催されました。テーマは『異常な日本の格差社会』。様々な社会保障制度の改善が押し進められようとしている中で、ここでは、特に国保の広域化問題についてお知らせします。

すでに後期高齢者(75歳以上)の医療保険の保険者は大阪府に比べて約1.5倍、市町村が100%納付しないといけないというやり方のため、国保料は今よりもっと高くなるのは確実です。

その上、厚労省の表現では、「規律ある医療提供体制改革が実現する」といつ、まさに医療を受ける側の国民にとって、何のメリットもない国保の広域化に反対の声をあげていきましょう。

(堺社保協事務局 南波)

それは、国が医療費の削減を都道府県にさせてい

うれしくなりました

京都市右京区

堀留律子(60歳)

友の会旅行サークルで「美山かやぶきの里」へ行かれたとのことでした。私の住む京北と美山はとなりどうしの町なので嬉しくなりました。

恐怖を感じます

堺区西湊町 山下増子(74歳)

相手かまわずの無差別テロに恐怖を感じます。不審な事態を見聞すれば、どうすればいいのでしょうか。



吉田 幸子

楽しく続けて行けたらと

堺区大仙中町 武藤律子(70歳)

老松診療所の2階でトレーニングを週2回教えてもらっています。同じトレーニングに通って



平石 米子



桐村 淑子

完成まであと一歩

福岡県朝倉市 飯田美代子(71歳)

「とも」新聞毎月ありがとうございます。すごく楽しみに待っています。耳原の病院も完成まであと一歩のこと、私は自分のことのように嬉しいです。堺に住んでいた頃は大変お世話になりました。現在私が元気でいられるのも貴病院のお陰です。ありがとうございました。

ありがとうございます

北区新金岡町 鮫島清治(79歳)

先日、診察、会計などをすませやれやれと帰着。カバンやポケットなどを探しても財布がない。すぐ病院に戻り、案内係に問い合わせたら、丁度電話連絡して下さるところだった。もしこれが他の場所だったら、当面倒れて下さった、耳原総合病院の職員さんをはじめとするスタッフの方々に厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。